

HP ProLiant SCCM 2012 Integration Kit (v 2014.02.0) ユーザーガイド

概要

このガイドでは、HP ProLiant SCCM 2012 Integration Kit のインストールと使用についてその手順と前提条件を説明します。この製品は、ProLiant サーバーを展開するためのサポートを提供します。



© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HP から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ（Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items）は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Microsoft®、Windows®、Windows® XP および Windows NT® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

目次

1 はじめに.....	4
2 サポートマトリックス.....	5
サポートされる System Center 製品およびターゲットオペレーティングシステム.....	5
サポートされるターゲットサーバー.....	5
3 インストールと構成.....	7
インストール.....	7
構成.....	8
アップグレード.....	9
アンインストール.....	9
4 Windows Server の ProLiant サーバーへの展開.....	10
5 ProLiant ファームウェアおよびソフトウェアアップデートの展開.....	12
6 拡張インベントリデータの収集.....	13
7 トラブルシューティング.....	15
一部のドライバーをブートイメージに組み込むことができない.....	15
再インストール、アップグレード、またはアンインストールの失敗.....	15
8 サポートと他のリソース.....	16
ご連絡の前にご用意いただく情報.....	16
HP へのご連絡方法.....	16
ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスへの登録.....	16
ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスの使用方法.....	16
保証情報.....	17
HP 製品販売店.....	17
関連情報.....	17
表記規約.....	17
A ハードウェア構成.....	19
用語集.....	22

1 はじめに

HP ProLiant SCCM 2012 Integration Kit は、SCCM に以下を提供します。

- ドライバーおよび ProLiant サーバーをデプロイするためのドライバーパッケージ
 - ProLiant サーバーに関する拡張インベントリデータを収集するためのツール
- 今回のリリースには以下の機能が含まれています。

- SCCM 2012 R2 のサポート
- Microsoft Windows Server 2012 R2 x64/WinPE 5.0 x64 のサポート
- HP Service Pack for ProLiant 2014.02.0 Windows Server ドライバー

このキットのバージョンでは、新しいより柔軟な設計が導入されました。新しい設計では、インストールのための PowerShell スクリプトを使用し、ドライバーパッケージと HP ProLiant ドライバーを提供し、およびデプロイメント用の Microsoft タスクシーケンスを使用します。この設計では、最新バージョンの Configuration Manager には依存しておらず、Microsoft タスクシーケンス（たとえば UEFI サポート）への強化機能の利点が得られ、認証情報を必要とするカスタムタスクは含まれていません。

次の表は、統合ソフトウェアキット機能を比較します。

機能	2013.09.0 またはそれ以前	2014.02.0 以降
インストール	GUI インストールユーティリティ経由でインストールします。	PowerShell スクリプト経由でインストールします。
タスクシーケンスの生成	HP 提供のウィザードで実行します。	Microsoft のウィザードで実行します。
カスタムの再起動/状態タスク	はい、あります。キットに含まれています。	ありません。Microsoft タスクシーケンスでは必要ありません。
ハードウェア構成	はい、あります。ツールキット、パッケージ、およびカスタムタスクはキットに付属します。	はい、手動の手順を使用します。付録 A 「ハードウェア構成」を参照してください。
Post-OS の構成	はい、あります。パッケージ、スクリプト、および smart コンポーネントはキットに付属します。	はい、ソフトウェアのカatalogを使用します。
拡張インベントリ	はい、ツール/パッケージと MIF ファイルを使用します。	はい、ツール/パッケージと MIF ファイルを使用します。
アンインストール	GUI アンインストールユーティリティ経由でアンインストールします。	PowerShell スクリプト経由でアンインストールします。

- ① **重要:** キットのバージョン 2013.09.0 または以前のバージョンがインストールされている場合、そのバージョンがアンインストールされ、新しいバージョンがインストールされます。つまり、既存の HP ProLiant タスクシーケンスは機能しないということです。新しいタスクシーケンスは、Microsoft タスクシーケンスに基づいているため、簡単に作成およびカスタマイズができます。第4章「Windows Server の ProLiant サーバーへの展開」および付録 A 「ハードウェア構成」を参照してください。

2 サポートマトリックス

サポートされる System Center 製品およびターゲットオペレーティングシステム

キットは、SCCM の次のバージョンにインストールすることができ、次のオペレーティングシステムを展開できます。

Host OS\SCCM	SCCM 2012 SP1 CU1 以降	SCCM 2012 R2
Windows Server 2008 R2	Windows Server 2008 R2 SP1 ² Windows Server 2012 ¹	Windows Server 2008 R2 SP1 ² Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2 ¹
Windows Server 2012	Windows Server 2008 R2 SP1 ² Windows Server 2012	Windows Server 2008 R2 SP1 ² Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2 ¹
Windows Server 2012 R2	サポートされません	Windows Server 2008 R2 SP1 ² Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2

制限：

- PowerShell コマンドレットにアクセスするため、コンソールをインストールしたプライマリサイトサーバーである必要があります。
- Windows Server 2008 R2 で PowerShell 3.0 または以降がインストールされている必要があります。
- ¹一部のドライバーをブートイメージに組み込むことができません。トラブルシューティングの項を参照してください。
- Windows Server 2008 R2 core edition のインストールはサポートされていません。
- ²Windows Server 2008 R2 を UEFI サーバーに展開する場合、[UEFI Optimized Boot] を無効に、[Secure Boot] を有効にする必要があります。

サポートされるターゲットサーバー

以下のサーバーを展開および保守できます。

BL2x220c G7	BL685c G7	DL380e Gen8	ML350 G6
BL420c Gen8	DL120 G7	DL380p Gen8	ML350e Gen8
BL460c G6	DL160 Gen8	DL385 G7	ML310e Gen8 v2 新規
BL460c G7	DL320e Gen8	DL385p Gen8	ML350p Gen8
BL460c Gen8	DL320e Gen8 V2	DL560 Gen8	SL4540 Gen8
BL465c G7	DL360 G6	DL580 G7	SL4545 G7
BL465c Gen8	DL360 G7	DL580 Gen8 新規	
BL490c G7	DL360e Gen8	DL585 G7	
BL620c G7	DL360p Gen8	ML110 G7	

BL660c Gen8	DL380 G6	ML310e Gen8	
BL680c G7	DL380 G7	ML310e Gen8 V2	

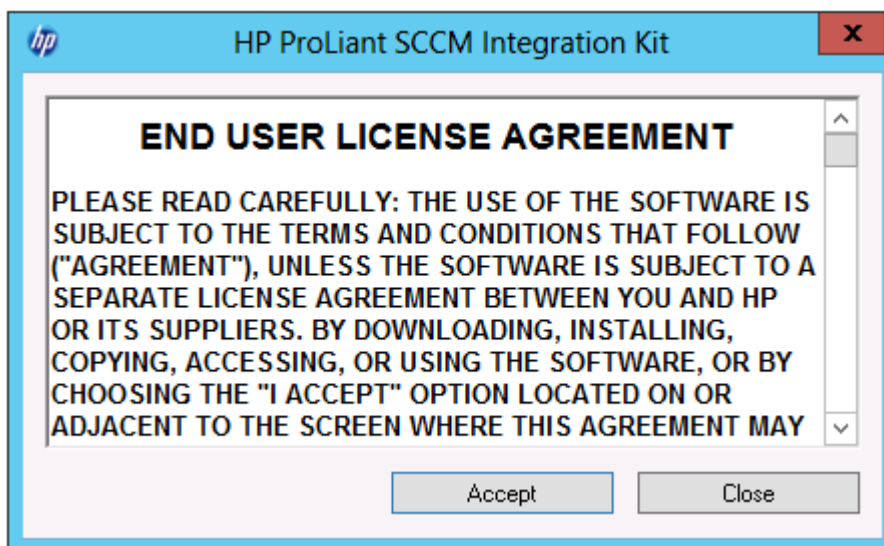
制限：

- デフォルトでは、ハードウェアの構成はサポートされていません。
- 複数のストレージコントローラーまたは複数のディスクが利用可能な（複数の DAS または SAN 接続のいずれかを使用）サーバーへの適切な展開は、デフォルトではサポートされていません。
- HP NC540 シリーズおよび NC530SFP+ ネットワークアダプターを使用した PXE ベースの展開はサポートされていません。

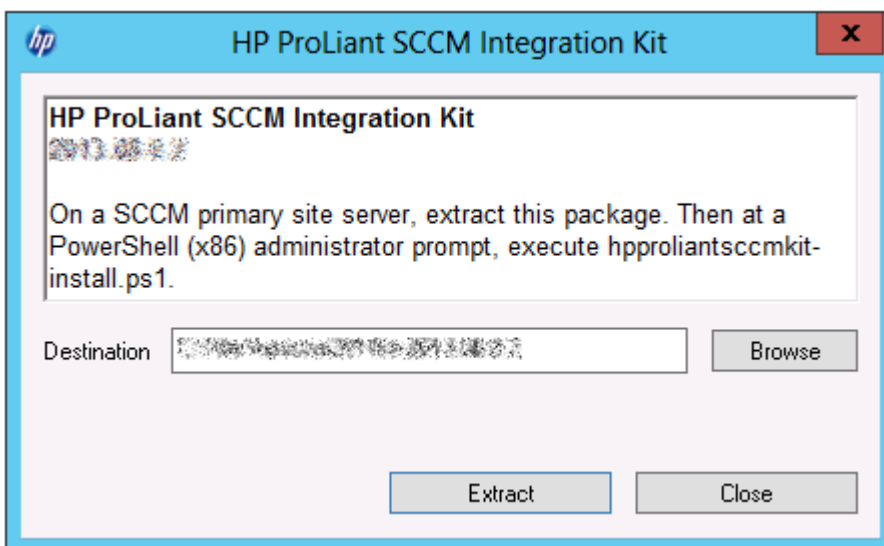
3 インストールと構成

インストール

1. 以下の前提条件が満たされていることを確認します。
 - サポートマトリックスで説明されている要件をサーバーが満たしている。
 - ログインユーザーが管理者レベルの権限を持っている。
2. SCCM プライマリサイトサーバーで、autorun.exe を実行し、HP Insight Control for Microsoft System Center イメージからのインストールを開始します。[Install] をクリックし、[HP SCCM 2012 Integration Kit] をクリックします。
3. [Accept] をクリックします。



4. 必要に応じて、パッケージを抽出するディレクトリを指定します。[Extract] をクリックします。



5. 管理者モードで PowerShell (x86) を起動します。
6. 「ステップ 4」で指定したディレクトリに変更します。

7. `.\hpproliantscckit-install.ps1` を実行します。
インストールスクリプトでは、既存のドライバーを削除し（必要な場合）、新しいドライバーをコピーし、役立つ名前と意味のあるカテゴリで新しいドライバーをインポートし、ドライバーパッケージを作成し、インベントリツールをコピーし、ツールのソフトウェアパッケージを作成して、アンインストールスクリプトをコピーします。
インストールのログは、`hpproliantscckit.log` という名前で、Windows ディレクトリにあります。

① **重要:** インストールスクリプトの変更はサポートされていません。

構成

1. X 64 ブートイメージに HP ProLiant ドライバーを追加します。
 - a. ドライバーのノードでは、適切なカテゴリ（たとえば「HP ProLiant WinPE 4.0 x64」）で、リストにフィルターをかけます。
 - b. リストに示されたすべてのドライバーを選択します。
 - c. 選択を右クリックして、**[Edit > Boot Images]** を選択します。
 - d. 適切なブートイメージ（たとえば「ブートイメージ (x64)」）を選択します。
 - e. **[OK]** をクリックします。

① **重要:** ドライバは、使用している WinPE のバージョンと完全に一致する必要があります。

2. 配布ポイントに、ブートイメージを配布して更新します。
 - a. ブートイメージのノードで、x64 ブートイメージを選択します。
 - b. 右クリックし、**[Distribute Content]** を選択します。
 - c. ウィザードの指示に従います。
 - d. X64 ブートイメージをもう一度選択します。
 - e. 右クリックし、**[Update Distribution Points]** を選択します。
 - f. ウィザードの指示に従います。

① **重要:**

- ドライバーが組み込まれる配布ポイントに、ブートイメージをアップデートする必要があります。
 - [Update Distribution Points] ウィザードが失敗した場合は、[第7章「トラブルシューティング」](#)を参照してください。
 - PXE ベースのデプロイメントが必ず正常に動作するには、X86 ブートイメージが配布ポイントに配布される必要があります。
-

3. すべての HP ProLiant ドライバーパッケージを配布ポイントに配布して、アップデートします。
 - a. ドライバーパッケージのノードでは、すべての HP ProLiant ドライバーパッケージを選択します。
 - b. 右クリックし、**[Distribute Content]** を選択します。
 - c. ウィザードの指示に従います。
 - d. HP ProLiant ドライバーパッケージをもう一度選択します。
 - e. 右クリックし、**[Update Distribution Points]** を選択します。
 - f. ウィザードの指示に従います。
4. すべての HP ProLiant ソフトウェアパッケージを配布ポイントに配布して、アップデートします。

- a. パッケージのノードでは、すべての HP ProLiant ソフトウェアパッケージおよび Configuration Manager Client Package を選択します。
 - b. 右クリックし、**[Distribute Content]** を選択します。
 - c. ウィザードの指示に従います。
 - d. HP ProLiant ソフトウェアパッケージをもう一度選択します。
 - e. 右クリックし、**[Update Distribution Points]** を選択します。
 - f. ウィザードの指示に従います。
5. Hardware Inventory Agent を構成します。
- a. クライアント設定ノードで、**[Default Client Settings]** をダブルクリックします。
 - b. 左側のウィンドウで、**[Hardware Inventory]** を選択します。
 - c. **[Maximum custom MIF file size (KB)]** = 512 に設定します。
 - d. **[Collect MIF file]** = Collect IDMIF and NOIDMIF files に設定します。
 - e. **[Set Classes...]**をクリックします。
 - f. <SCCM Installation>\OSD\Lib\Packages\HP\ProLiant\InventoryTool フォルダーにある各 .mof ファイルに対して、**[Import...]**をクリックし、ファイルを選択し、**[Open]** をクリックしてから **[Import]** をクリックします。

アップグレード

キットのバージョン 2013.09.0 または以前のバージョンからアップグレードする場合、そのバージョンがアンインストールされ、新しいバージョンがインストールされます。つまり、既存の HP ProLiant タスクシーケンスは機能しないということです。新しいタスクシーケンスは、Microsoft タスクシーケンスに基づいているため、簡単に作成およびカスタマイズができます。[第4章「Windows Server の ProLiant サーバーへの展開」](#)および[付録 A「ハードウェア構成」](#)を参照してください。

バージョンが 2014.02.0 以降のキットをアップグレードする場合、既存のドライバーは削除され、新しいドライバーが追加されます。ドライバーは、ブートイメージに再度追加する必要があります。ドライバーパッケージは自動的に新しいドライバーを参照します。すべてのブートイメージ、ドライバーパッケージ、およびソフトウェアパッケージは、変更を取得する配布ポイントに更新する必要があります。ドライバーパッケージの削除と再追加が行われなかったため、タスクシーケンスの機能は継続します。

アンインストール

1. 管理者モードで PowerShell (x86) を起動します。
2. SCCM インストールディレクトリ (たとえば C:\Program Files\Microsoft Configuration Manager) にディレクトリを変更します。
3. `.\hpproliantscmkit-uninstall.ps1` を実行します。

アンインストールのログは、`hpproliantscmkit.log` という名前で、Windows ディレクトリにあります。

-
- ① **重要:** アンインストールスクリプトの変更はサポートされていません。
-

4 Windows Server の ProLiant サーバーへの展開

Windows Server の展開は、SCCM OSD の標準的な方法（タスクシーケンスの作成、タスクシーケンスの構成、タスクシーケンスのコレクションへの展開）に従います。

Windows Server を ProLiant サーバーに展開するには、以下の手順に従ってください。

1. 以下の条件が満たされていることを確認します。
 - 「構成」セクションのすべての手順が正常に完了した。
 - 目的に特化したコレクションが存在している。
2. 新しいタスクシーケンスを作成します。

ウィザードを開くには、[Task Sequence] ノードで、リボンバーの [Create Task Sequence] をクリックします。次のオプションを選択します。

 - [新しいタスクシーケンスの作成] ステップで、[Install an existing image package] を選択します。
 - [Install Windows] 手順で、[Configure task sequence for use with Bitlocker] の選択を解除します。
 - [State Migration] 手順で、3 つすべてのオプションの選択を解除します。
3. 新しいタスクシーケンスを編集します。
 - a. [Apply Device Drivers] タスクを削除し、適切な HP ProLiant ドライバーパッケージを参照する同じ場所に [Apply Driver Package] タスクを追加します。



- b. インストールメディアの `install.wim` ファイルが添付された Windows Server 2008 R2 x64 を展開する場合、[Apply Operating System] タスクの前に、値が `OSDPreserveDriveLetter = False` の [Set Task Sequence Variable] タスクを追加します。
 - c. ProLiant Updates Catalog ソフトウェアバンドルを後で確実にデプロイできるように、SNMP 機能を有効にすることをおすすめします。有効にするには、該当するコマンド行のタスクシーケンスの最後に、以下の[コマンド行の実行] タスクを追加します。
 - Windows Server 2008 R2 の場合は、`servermanagercmd -install SNMP-Services`
 - Windows Server 2012 以降の場合は、`powershell.exe -command install-windowsfeature -name SNMP-Service`
4. タスクシーケンスをコレクションに展開します。
 5. ターゲットサーバーをインポートしてコレクションに割り当てます。

- ① **重要:** SMBIOS GUID と PXE NIC MAC アドレスを指定する必要があります。SMBIOS GUID は、SCCM エージェントがデータベースでターゲットサーバーを照合し、NIC の順序問題を防止できるようにするために必要です。PXE NIC MAC アドレスは、[Clear Required PXE Deployment] 機能に必要です。

6. ターゲットサーバーの電源を入れ、サーバーが PXE を起動し、SCCM に接続して、展開プロセスを開始できるようにします。

5 ProLiant ファームウェアおよびソフトウェアアップデートの展開

ProLiant Updates Catalog は、最新のファームウェアとソフトウェアを SPP から提供します。SCUP と SCCM のソフトウェアアップデート機能のカタログを使用して ProLiant サーバーを最新に維持することができます。詳細については、『[HP ProLiant Updates Catalog ユーザーガイド](#)』を参照してください。

-
- ① **重要:** 新たに展開されたサーバーにカタログアップデートを適用すると、iLO ドライバーの完全なインストール、追加ドライバーとユーティリティのインストール、および既存ドライバーの更新が確実に行われます。
-

6 拡張インベントリデータの収集

HP ProLiant Inventory Tool はコマンドラインユーティリティです。実行すると、HP Insight Management WBEM Provider からデータを収集し、HP#.mif mif ファイルを NOIDMIFS ディレクトリに生成します。このファイル内の情報は、Hardware Inventory Client Agent によって収集され、SCCM データベースに格納されて、ソリューションエクスペローラーで表示できるようになります。

拡張インベントリデータを収集するには、次の手順に従います。

1. 以下の条件が満たされていることを確認します。
 - 「構成」セクションのすべての手順が正常に完了した。
 - 管理対象サーバーに HP Insight Management WBEM Provider がインストールされている。
2. パッケージをコレクションに展開します。

ウィザードを開始するには、**[HP ProLiant Inventory Tool]** パッケージを右クリックして **[Deploy]** を選択し、表示される手順に従います。次のオプションを選択します。

 - **[Scheduling]** 手順で、定期的なスケジュールを追加し、**[Rerun behavior]** を「Always rerun program (常にプログラムを再実行)」に設定します。

次の表が SCCM に追加されます。

表 1 HP ProLiant の位置

名前	値 (例を示します)
エンクロージャー	Enc001
ベイ	5

表 2 HP ProLiant システム概要

名前	値 (例を示します)
Model (モデル)	ProLiant BL465c G7
Serial Number (シリアル番号)	AQQ1620FJ3
GUID	9032393F-3000-0000-ABCD-303D30A652BB
CPU ¹	ソケット 1 の AMD Opteron(TM) プロセッサファミリ 2.3 GHz (x64 ファミリ 16 モデル 9 ステッピング 1) プロセッサ
DIMM ¹	プロセッサボード 1 の 8.00 GB 物理メモリモジュール 1
マネジメントプロセッサ ¹	Integrated Lights Out 3 (iLO3)
Smart アレイコントローラー ¹	スロット 0 の Smart アレイ P410i
Smart アレイディスク ¹	68.37 GB ポート : 11 ボックス : 1 ベイ : 1
ネットワークアダプター ¹	HP NC551i デュアルポート FlexFabric 10 Gb コンバージドネットワークアダプター

¹ 項目は繰り返される場合があります。

表 3 HP ProLiant バージョンコントロール

タイプ	コンポーネント（例を示します）	バージョン（例を示します）
バンドル ¹	proliantfw	2012.02.0.51
ソフトウェア ¹	Windows 用 HP ProLiant アレイコンフィギュレーションユーティリティ (cpqacuxe.exe)	9.0.24.0
ソフトウェア ¹	Microsoft Windows Server 2003/2008 x64 版用 HP ProLiant Integrated Lights-Out Management Interface Driver (CpqCiDrv.sys)	1.15.0.0
ファームウェア	BladeSystem c3000 エンクロージャー	3.50
ファームウェア	A19 (アクティブ)	2011.12.28
ファームウェア	A19 (リダンダント)	2011.12.28
ファームウェア ¹	PIC	1.6
ファームウェア ¹	Integrated Lights Out 3 (iLO3) (アクティブ)	1.28
ファームウェア ¹	スロット 0 の Smart アレイ P410i	5.14
ファームウェア ¹	ディスク EH0146FAWJB ポート : 1I ボックス : 1 ベイ : 1	HPDH
ファームウェア ¹	HP NC551i デュアルポート FlexFabric 10 Gb コンバージドネットワークアダプター (ブートコード)	4.0.493.0

¹ 項目のタイプとコンポーネント繰り返される場合があります。

インベントリツールの代わりまたは補助として、特定の HP WMI クラスを収集するように Hardware Inventory Agent を構成できます。HP WMI クラスを収集するには、クラスを追加するための SCCM の指示に従ってください。次のオプションを選択します。

- **[Connect to Windows Management Instrumentation (WMI)]** ダイアログで、**[Computer name]** を最新の HP Insight Management WBEM Provider を実行するサーバーに設定し、**[WMI namespace]** を root\hpq に設定し、**[Recursive]** を選択してから、必要に応じて認証情報を指定します。
- **[Add Hardware Inventory Class]** ダイアログで、1 つまたは複数のクラスを選択します。クラスについて詳しくは、『[HP Insight Management WBEM Provider ユーザーガイド](#)』を参照してください。

7 トラブルシューティング

一部のドライバーをブートイメージに組み込むことができない

これが発生する理由の一例として、DISM とオペレーティングシステムでサポートされるものよりも新しいドライバー署名方法を使用してドライバーが署名されていることが挙げられます。この場合、ドライバーは未署名ドライバーとして扱われ、ブートイメージに組み込まれません。たとえば、Windows Server 2008 R2 で SCCM 2012 SP1 を実行している場合、一部の Windows Server 2012 ドライバーが x64 ブートイメージに組み込まれないことがあります。問題のドライバーがその環境では不要である場合は、ブートイメージのドライバーリストからそのドライバーを削除し、ブートイメージの配布ポイントへの更新を再試行します。

再インストール、アップグレード、またはアンインストールの失敗

いくつかの原因が考えられます。

- ドライバーパッケージのデータソースフォルダーが削除されましたが、ドライバーパッケージはコンソールに存在しています。
- データソースフォルダーの 1 つがロックされています。

この問題を解決するには、以下の手順を実行してください。

- コンソール上でドライバーパッケージを手動で削除します。
- サーバーを再起動して、フォルダーのロックを解除します。

8 サポートと他のリソース

ご連絡の前にご用意いただく情報

HP にご連絡いただく前に、次の情報をお手元にご用意ください。

- ソフトウェア製品名
- ハードウェア製品モデル番号
- オペレーティングシステムの種類とバージョン
- 該当するエラーメッセージ
- 他社製のハードウェアまたはソフトウェア
- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）

HP へのご連絡方法

次の方法で HP のテクニカルサポートに問い合わせてください。

- 次の「Contact HP Worldwide」の Web サイトを参照してください。
<http://www.hp.com/go/assistance>
- 次の HP Support Center の Web サイトにある [HP に問い合わせ] メニューの中のオプションを使用してください。
<http://www.hp.com/go/hpsc>
- 米国では、+1 800 334 5144HP に電話で問い合わせてください。このサービスは、休日なしで 24 時間ご利用いただけます。品質改善のため、通話内容が録音またはモニターされることがあります。

ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスへの登録

Insight Management には、1 年間、24 時間年中無休のソフトウェアテクニカルサポートおよびアップデートサービスが含まれています。このサービスは、ソフトウェアの実行の解決またはオペレーション問題をアシストするために HP テクニカルリソースへのアクセスを提供します。

このサービスはさらにソフトウェアアップデートおよびリファレンスマニュアルへのアクセスを提供します。電子版ライセンスをご購入されたお客様は、アップデートの電子配布のみを選択できます。

このサービスで、Insight Management のお客様は、ソフトウェアアップデートの通知と入手だけでなく効率の良い問題解決も受けることができます。SAID を受け取りましたら、ITRC（IT リソース・センター）で ITRC ユーザー ID に SAID 情報をリンクすることで、ソフトウェアアップデートマネージャー（SUM）の Web ページを利用して、契約内容をオンラインで参照したり、アップデートの電子配布を選択することが可能です。このサービスについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hp.com/services/insight>（英語）

登録の方法について

登録の具体的な方法については、以下の URL をご覧ください。

http://www.hp.com/jp/swsupport_entry

ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスの使用方法

ソフトウェアのアップデートがリリースされると、最新バージョンのソフトウェアとドキュメントが入手できるようになります。ソフトウェアアップデートおよびライセンスのポータルで

は、HP ソフトウェアサポート契約にある製品に対するソフトウェア、ドキュメント、およびライセンスのアップデートにアクセスできます。

このポータルには HP Support Center からアクセスできます。

<http://www.hp.com/go/hpsc>

お客様のプロファイルを作成し、サポート契約をプロファイルにリンクしたら、HP の Web サイト <http://www.hp.com/go/hpsoftwareupdatesupport> にあるソフトウェア アップデートおよびライセンスのポータルを参照して、ソフトウェア、ドキュメント、およびライセンスのアップデートを入手してください。

保証情報

HP は購入日から 90 日以内であれば、問題のある配布メディアを交換します。この保証は、すべての Insight Management 製品に適用されます。

HP 製品販売店

最寄りの HP 製品販売店の名称については、以下で確認してください。

- 米国では次の Web サイトの「HP U.S. service location」を参照してください。

http://www.hp.com/service_locator

- その他の国では、次の Contact HP Worldwide（英語）の Web サイトを参照してください。

<http://www.hp.com/go/assistance>

関連情報

- HP Insight Control for Microsoft System Center ドキュメントの Web サイト：
<http://www.hp.com/go/icsc/docs>（英語）
- [HP Insight Management WBEM Provider のマニュアルの Web サイト](http://www.hp.com/jp/proliantessentials_manual)（英語）または http://www.hp.com/jp/proliantessentials_manual
- [HP Insight マネジメントエージェントのマニュアルの Web サイト](http://www.hp.com/jp/proliantessentials_manual)（英語）または http://www.hp.com/jp/proliantessentials_manual
- HP ProLiant サーバー：
<http://www.hp.com/jp/proliant>

表記規約

本書では、次の表記規約を使用します。

『マニュアル名』	マニュアルの名前です。Web では、マニュアルのハイパーリンクになる場合があります。
コマンド	コマンド名またはコマンド句。たとえば、ls -a。
コンピューター出力	コンピューターが表示する情報です。
Ctrl+x または Ctrl-x	Ctrl キーを押しながら x キーを押すことを示します。
環境変数	環境変数名（PATH など）。
キー	キーボード上のキーです。Return と Enter は、同じキーを指しています。
用語	用語集ではなく、文書の文中で定義される用語です。
ユーザー入力	入力するコマンドなどのテキスト文字列を示します。
代入	実際の値を代入するプレースホルダーの名前です。

[]	コマンド構文では、この中にオプションの内容が含まれます。
{ }	コマンド構文では、この中に必須の内容が含まれます。
	選択肢のリストを区切ります。
...	前の要素を 1 回以上繰り返すことができることを示します。
警告	けがにつながる重要な情報への注意を喚起する注意です。
注意	データの消失や破壊、またはハードウェアやソフトウェアの損傷につながる重要な情報への注意を喚起する注意です。
重要	重要な情報への注意を喚起する注意です。
注記	追加情報や補足情報を含む注意です。
ヒント	有用な情報を提供する注意です。

A ハードウェア構成

オペレーティングシステムの展開前に、ハードウェア構成が必要ではない場合があります。ハードウェア構成は、ROM ベースセットアップユーティリティ（RBSU）、Option ROM Configuration for Arrays（ORCA）などの他の方法でも実行できます。

- ① **重要:** ハードウェア構成は、HP Scripting Toolkit for Windows と、WinPE の SPP ドライバーを使用して実行しているため、STK、ドライバー、および WinPE の問題の影響を受けやすくなっています。これを使用する前にアドバイザリを確認します。

タスクシーケンスにハードウェア構成を追加するには、以下の手順に従います。

1. 最新バージョンの [HP Scripting Toolkit for Windows](#) をダウンロードします。
2. 新しい UNC 共有に x64\tools* and x64\drivers\winpe40\system\hpsstki** を抽出します。
3. UNC 共有に、すべての入力ファイルを作成するか追加するかします。
4. UNC フォルダーに、以下の内容を持つ drvload.cmd という名前のファイルを作成します。

```
@echo off
if not exist %systemdrive%\windows\system32\hpsstki.sys copy hpsstki.sys
%systemdrive%\windows\system32\drivers

pushd .

reg.exe query HKLM\System\CurrentControlSet\Enum\PCI | find "VEN_103C&DEV_3302"
set ilo2hw=%errorlevel%
reg.exe query HKLM\System\CurrentControlSet\Services\hpqilo2
set ilo2drv=%errorlevel%
if %ilo2hw%==0 if %ilo2drv%==1 (
    echo DRVLOAD: Loading iLO2 drivers
    cd /d %systemdrive%\windows\system32\driverstore\filerepository\hpqilo2*
    drvload.exe hpqilo2.inf
    cd /d %systemdrive%\windows\system32\driverstore\filerepository\cpqcidrv*
    drvload.exe cpqcidrv.inf
    ping localhost -n 60 >nul
)

reg.exe query HKLM\System\CurrentControlSet\Enum\PCI | find "VEN_103C&DEV_3306"
set ilo3hw=%errorlevel%
reg.exe query HKLM\System\CurrentControlSet\Services\hpqilo3core
set ilo3drv=%errorlevel%
if %ilo3hw%==0 if %ilo3drv%==1 (
    echo DRVLOAD: Loading iLO3 drivers
    cd /d %systemdrive%\windows\system32\driverstore\filerepository\hpqilo3core*
    drvload.exe hpqilo3core.inf
    cd /d %systemdrive%\windows\system32\driverstore\filerepository\hpqilo3chif*
    drvload.exe hpqilo3chif.inf
    ping localhost -n 60 >nul
)

popd
```

5. 以下のプロパティで、新しいソフトウェアパッケージを作成します。
 - **Name** = HP ProLiant Hardware Configuration
 - **[This package contains source files]** を選択します。
 - **Source folder** = **ステップ 2** で作成された UNC 共有
 - **[Do not create a program]** を選択します。
6. 新しいソフトウェアパッケージを配布ポイントに配布します。
7. タスクシーケンスを編集します。

- 📁 **Configure HP ProLiant Hardware**
 - ✔ Restart in Windows PE
 - ✔ Partition Disk 0 - BIOS
 - ✔ Partition Disk 0 - UEFI
 - ✔ Load WinPE Drivers
 - ✔ Configure iLO
 - ✔ Configure BIOS (Gen8)
 - ✔ Restart Computer
 - ✔ Configure Smart Array
 - ✔ Wait
- 📁 **Install Operating System**
 - ✔ Restart in Windows PE
 - ✔ Partition Disk 0 - BIOS
 - ✔ Partition Disk 0 - UEFI
 - ✔ Apply Operating System
 - ✔ Apply Windows Settings
 - ✔ Apply Network Settings
 - ✔ Apply Driver Package
- 📁 **Setup Operating System**
 - ✔ Setup Windows and Configuration Manager
 - ✔ Install SNMP Feature

- a. 「ProLiant ハードウェアの設定」という名前の最初の新しいグループを作成します。
 - b. 「オペレーティングシステムのインストール」グループから最初の3つの手順を新しいグループにコピーします。
-
- ① **重要:** ベアメタルサーバーを配備するときに、パーティションの作業が必要です。ベアメタルサーバーでは、Smart アレイ自体は自動的に設定されますが、ドライブのパーティション分割およびフォーマットを行い、[コマンド行の実行] を許可して参照パッケージをダウンロードしたり、[コンピュータの再起動] タスクを許可しての状態情報をキャッシュする必要があります。
-
- c. [コマンド行の実行] タスクの手順を次のオプションで行います。
 - **Name** = Load WinPE Drivers
 - **Command Line** = drvload.cmd
 - **Package** = HP ProLiant Hardware Configuration
-
- ① **重要:** drvload.cmd スクリプトは、hpsstkio.sys ドライバーを windows\system32\drivers ディレクトリにコピーし、x64 ブートイメージに追加された iLO ドライバーをロードします。これらのドライバーは、一部のツールキットユーティリティが必要です。
-
- d. ツールキットユーティリティごとに 1 つまたは複数の [コマンド行の実行] タスクを追加します。
 - **Name** =
 - **Command Line** = toolkit utility executable with parameters
 - **Package** = HP ProLiant Hardware Configuration



重要:

- BIOS 設定ユーティリティは 2 つ存在するため、BIOS 設定を行う場合は、ユーティリティごとに別のタスクシーケンスを作成するか、どのユーティリティを使用するかを指定するバッチファイルを使用します。
 - BIOS の設定を行っている場合は、設定の変更後にシステムの再起動が必要となる可能性があります。 **[The boot image assigned to this task sequence]** を選択して [コンピュータの再起動] タスクを追加します。
 - Smart アレイの構成を実行している場合、「オペレーティングシステムのインストール」グループの前のグループとそのパーティショニングタスクの最後のユーティリティ手順である**必要があります**。 Smart アレイを構成すると c:が消え、その結果パッケージを参照する [コマンド行の実行] タスクが失敗する原因となります。 同じ理由で、バッチファイルで hpssascripting.exe を実行しないでください。
 - HPCISSS3 ドライバーがサポートするコントローラーに Smart アレイ構成を行うと、その後のパーティションディスク 0 タスクが失敗する可能性が高くなります。 Smart 構成タスクの後に、**コマンド行が** ping localhost -n 60 の [コマンド行の実行] タスクを追加します。 これにより、タスクシーケンスは待ちになり、ドライバーが再初期化される時間が得られます。 また、ブートイメージからそのドライバーを削除するか、手動で Smart アレイ構成を実行することも可能です。
-

用語集

CDM	Custom Data Manager
DMC	Device Monitor Console
DMS	Device Monitor Service
OSD	Operating System Deployment
PSP	HP ProLiant Support Pack
SCCM	System Center Configuration Manager
SCOM	System Center Operations Manager
SCUP	System Center Updates Publisher
SCVMM	System Center Virtual Machine Manager
SPP	HP Service Pack for ProLiant
STK	HP Scripting Toolkit
SUM	HP Smart Update Manager
WSUS	Windows Server Update Services